

- ◆ 府では、令和4年10月策定の「豊かな大阪湾」保全・再生・創出プランに基づき、大阪湾奥部の水質改善や、魚類等の生育の場となる藻場の再生・創出等の取組みを推進。
- ◆ “海の万博”と称される2025年の大阪・関西万博を契機に、ブルーカーボン生態系の一つである藻場の保全・再生・創出の取組みを加速させる。

## ブルーカーボン生態系とは

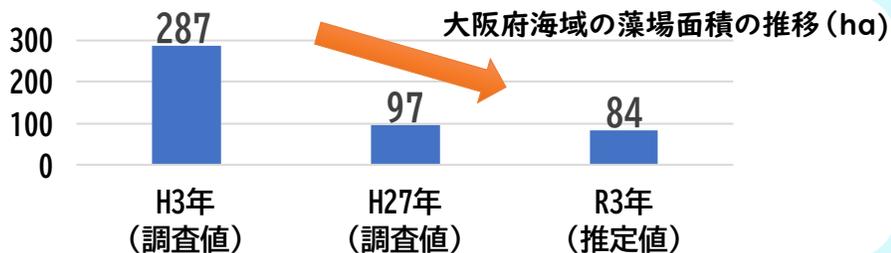
- ・二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を吸収・貯留する海洋生態系のことをいう。
  - 藻場〔海草(アマモ等)、海藻(ワカメ、コンブ等)〕、干潟 等
- ・藻場や干潟などの面積が拡大することで、CO<sub>2</sub>の吸収・貯留量増加のほか、水中の酸素の供給等による水質改善、魚類等の産卵と生育の場の創出による生物多様性の向上等の相乗的な効果がある。



## 大阪湾の環境保全の取組み

### 現 状

- ・大阪湾奥部は、人工護岸で囲まれ生き物が住みにくく、夏季に底層の溶存酸素が少ない
- ・湾南部には藻場が存在するが、面積は減少傾向



### 取組例

- ・港湾での藻場創出の実証事業
- ・水産資源を増やすための藻場整備 等



港湾での藻場創出の実証事業

### 目 標

#### 「豊かな大阪湾」の実現

- 多様な生物を育む場の確保
- 良好な水環境
- 都市としての魅力向上

# 大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス(MOBA)の設立 フリップ②

- ◆ 大阪湾沿岸を藻場などで取り囲む「大阪湾MOBAリンク構想」の実現に向けて、兵庫県とともに、本日「大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス(MOBA)」を設置。
- ◆ この構想に賛同し、大阪湾におけるブルーカーボン生態系の創出等に取り組む民間企業、団体、大学、自治体等の取組団体の募集を開始する。

## 大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス(MOBA) Members of the Osaka bay Blue carbon ecosystem Alliance

- 目的：2050年の「大阪湾MOBAリンク構想」の実現に向け、様々な関係機関・団体等が主体的、かつ、連携した取組みの実施
- 構成：大阪湾における藻場等の創出意欲のある民間企業、団体、大学、自治体等
- 活動内容：会員のブルーカーボン生態系の創出等の取組活性化、情報発信・普及啓発・理解促進の一元的な展開  
会員の連携による新たな創出等の検討・支援、藻場創出等が生物多様性等へ及ぼす効果把握 等

国際的な課題解決に貢献

2030年：SDGs達成、生物多様性回復(ネイチャーポジティブ(自然再興)) 2050年：カーボンニュートラルの実現



入会方法等はこちら

## 大阪湾MOBAリンク構想

- 大阪湾の湾南部(泉佐野市以南)や西部は藻場が見られるものの減少傾向、「湾奥部(貝塚市~神戸市東部)」は過去の埋立てなどにより藻場がほとんど存在しない「ミッシングリンク」となっている。
- 「湾奥部」における藻場創出や湾南部や西部における保全・再生の取組みにより大阪湾沿岸を藻場などのブルーカーボン生態系の回廊でつなぐ構想。

